

研究協力のお願

金沢医療センターでは、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>NUDT15 遺伝子検査結果実用化後のチオプリン製剤の副作用に関する後ろ向き観察研究 (post MENDEL Study)</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間 当院にクローン病・潰瘍性大腸炎・腸管ベーチェット病・分類不能型腸炎の診断で通院中の方で、2019年2月以降にNUDT15 遺伝子多型検査を受けた方。</p>
<p>2. 研究目的・方法 NUDT15 遺伝子多型検査の実用化によって、チオプリン製剤による副作用の発生状況がどうなっているかを確認することで、この検査の有用性や、この検査結果をどう活用するかを過去のデータから推定します。</p> <p>当院を含む全国の研究参加施設に通院中の炎症性腸疾患の患者さんのうち、上記の対象に該当する患者さんについて、これまでのチオプリン製剤による治療の効果や副作用についてカルテから情報を収集し、匿名化を行たうえで東北大学にデータを集積します。</p> <p>そのデータと、過去の研究に参加した方についてはすでに提供・解析が済んでいるゲノムDNAのデータ、それ以外の方は診療目的で行われたNUDT15 遺伝子多型検査の結果を用いて、NUDT15 遺伝子型と副作用との関係や、検査によって副作用の発生を抑えることができているかなどを検討します。</p> <p>研究期間 2021年1月～2025年6月</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類 情報：性別、年齢、生年月、病歴、治療歴、副作用等発生状況、検査結果データ等 試料：新たに試料は用いません。</p>
<p>4. 外部への試料・情報の提供 東北大学消化器内科に、情報を集積します</p>
<p>5. お問い合わせ先 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：臨床研究部、消化器内科 部長 氏名：加賀谷尚史 電話番号：076-262-4161</p>